

奈良県が障害者実雇用率全国第1位になりました



障害者雇用の取組紹介 近畿セキスイハイム工業株式会社
特例子会社設立の支援について ~特例子会社設立セミナー&見学会の開催~
特例子会社から見える障害者雇用 ~障害者雇用を成功に導くために~
はじめての障害者雇用 株式会社近鉄旅館システムズ

特別支援学校 奈良県立西和養護学校
福祉事業所レストラン Ohisama Cafe&Shop
国文祭・障文祭なら2017

インタビュー | ジョブコーチ支援とリワーク支援
 Interview | 奈良障害者職業センター

奈良県 奈良労働局
 (障害者施設で作成しました)

障害者就労支援機関

公共職業安定所

職業紹介等職業に関するあらゆる相談を行います。特に公共職業安定所には専門の職員が配置されていて、きめ細かな相談に応じています。

ハローワーク奈良	〒630-8113 奈良市法蓮町 387(奈良第3 地方合同庁舎内)	TEL 0742-36-1601 FAX 0742-36-1608
ハローワーク大和高田	〒635-8585 大和高田市池田 574-6	TEL 0745-52-5801 FAX 0745-53-4181
ハローワーク桜井	〒633-0007 桜井市外山 285-4-5	TEL 0744-45-0112 FAX 0744-45-3990
ハローワーク下市	〒638-0041 吉野郡下市町下市 2772-1	TEL 0747-52-3867 FAX 0747-52-0406
ハローワーク大和郡山	〒639-1161 大和郡山市観音寺町 168-1	TEL 0743-52-4355 FAX 0743-55-0670

障害者就業・生活支援センター

職業生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障害のある人に対し、雇用、医療・保健、福祉、教育等の関係機関との連携を図りつつ、身近な地域において必要な指導、助言その他の支援を行います。

なら障害者就業・生活支援センター コンパス	〒630-8115 奈良市大宮町 3-5-39 やまと建設第3ビル 302	TEL 0742-32-5512 FAX 0742-93-7712
なら東和障害者就業・生活支援センター たいよう	〒633-0091 桜井市桜井 232 ヤガビル 3階 302号室	TEL 0744-43-4404 FAX 0744-43-4404
なら西和障害者就業・生活支援センター ライク	〒639-1134 大和郡山市柳 2-23-2	TEL 0743-85-7702 FAX 0743-85-7703
なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ	〒634-0812 橿原市今井町 2-9-19 今井長屋 1	TEL 0744-23-7176 FAX 0744-23-7176
なら南和障害者就業・生活支援センター ハロー Job	〒638-0821 吉野郡大淀町下湊 158-9	TEL 0747-54-5511 FAX 0747-54-5501

奈良障害者職業センター

障害のある人に対して、ハローワーク(公共職業安定所)と協力して、就職に向けての相談、職業能力の評価、就職前の準備訓練から、就職後の職場適応のための援助まで、個々の障害のある人の状況に応じた継続的なサービスを提供します。

奈良障害者職業センター	〒630-8014 奈良市四条大路 4-2-4	TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899
-------------	----------------------------	--------------------------------------

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

高齢者等及び障害者の雇用に関する相談・援助、助成金の支給申請の受付、障害者雇用納付金制度に基づく申告・申請の受付、啓発等の業務を実施しています。

奈良支部	〒630-8122 奈良市三条本町 9-21 JR 奈良伝宝ビル 6階	TEL 0742-30-2245 FAX 0742-30-2246
------	--	--------------------------------------

発行元	奈良県健康福祉部障害福祉課 〒630-8501 奈良市登大路町 30 番地 TEL 0742-27-8514 FAX 0742-22-1814	奈良労働局職業安定部職業対策課 〒630-8570 奈良市法蓮町 387 番地 奈良第3 地方合同庁舎 2階 TEL 0742-32-0209 FAX 0742-32-0225
作成	社会福祉法人 ぷろぼの 〒630-8115 奈良市大宮町 3 丁目 5-39 第3 やまと建設ビル 201 号 TEL/FAX 0742-81-7032	

奈良県が障害者実雇用率

全国第1位になりました

平成28年の障害者雇用状況調査(6月1日現在)の全国集計の結果、奈良県内の民間企業における実雇用率が2.6%となり、全国第1位となりました(去年は第3位)。

奈良県内における障害者雇用にかかわる取組の成果が表れましたことに感謝申し上げます。

障害者雇用促進の取組

平成26年2月に奈良県と奈良労働局の共同で「障害者はたらく応援団なら」を設立し、登録企業や関係者の皆様と共に意見交換会や各種就労支援セミナーの開催等による障害者雇用促進に係る各種取り組みを実施してまいりました。奈良県内企業の障害者雇用への理解により、個々の企業において積極的に障害者雇用を実施していただいた成果であると考えています。

チーム支援の効果的な実施

奈良県におきましては、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、奈良障害者職業センター、特別支援学校及び各就労支援機関が密接に連携して障害のある人の就労及び定着支援を実施する「チーム支援」が効果的に実施されたことも実雇用率が全国第1位となった要因であると考えています。

障害者雇用の今後

平成30年度には、法定雇用率の算定基礎に精神障害者が含まれることに伴う法定雇用率の引き上げが予定されていますので、今後とも、奈良県における障害者雇用が一段と促進されますよう皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

集計結果の主なポイント

民間企業

(法定雇用率2.0%・常用労働者数50人以上企業対象)

- 雇用障害者数
2,222.5人 前年より240.0人 UP↑
- 実雇用率
2.60% 前年より0.20ポイント UP↑
- 法定雇用率達成企業の割合
60.4% 前年より1.8ポイント UP↑

民間企業における雇用状況

- 障害種別の状況
身体障害者1,208.5人 前年より80.5人 UP↑
知的障害者828.5人 前年より68.5人 UP↑
精神障害者185.5人 前年より91人 UP↑
- 報告企業
556社 前年より32社 UP↑

障害者実雇用率全国第1位!! ①

障害者雇用の取組紹介 Vol.6

近畿セキスイハイム工業株式会社
実習が切り開く雇用への扉



近畿セキスイハイム工業株式会社

特例子会社設立の支援について

～特例子会社設立セミナー&見学会の開催～

特例子会社から見える障害者雇用

～障害者雇用を成功に導くために～
奈良県障害者政策推進トップフォーラムでの講演

はじめての障害者雇用 Vol.2

株式会社近鉄旅館システムズ



株式会社近鉄旅館システムズ

特別支援学校 Vol.4

奈良県立西和養護学校

福祉事業所レストラン Vol.6

Ohisama Cafe & Shop

国文祭・障文祭なら2017

インタビュー

Interview 第6回

ジョブコーチ支援とリワーク支援
奈良障害者職業センター



奈良県立西和養護学校

「奈良県障害者雇用促進ジャーナル」は、県内の企業や経済・労働団体等の皆様に、障害者雇用施策や障害者雇用に関する制度、障害者雇用に関する先進事例などを紹介し、障害者雇用に関する様々な情報を共有していただくことができるよう、奈良県と奈良労働局が共同で発行しています。

このジャーナルを通じて、障害のある人が一人でも多く就労し、働き続けるための一助となることを期待しています。

是非ともご一読いただきまして、奈良県における障害者雇用の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



小原光雅代表取締役常務

取材に応じてくださったのは、代表取締役常務の小原光雅さん、管理部部長の山本雅也さん、管理部総務グループ長の平岡隆宏さん、そして製造部全体を統括する生産部部長の澤田昌二さんです。まず、障害者雇用に対する考えについて、小原取締役に向いました。

職場体験の延長の意識で 初めての實習受け入れ

会社では、全社員292名のうち、身体3名、知的3名の障害のある人が働いています。知的障害のある人は、部材の加工や、ユニットごとに必要となる部材を集める仕事（ピッキング）と、製造ラインでの仕上げ清掃などに携わっています。この内の一人は、平成25年に實習を経験して正社員として採用。また、平成28年に養護学校から2名の實習生を受け入れ、平成29年4月から正式に採用しました。奈良市西九条町にあるこの工場を訪ね、實習から雇用へのいきさつや、障害のある人とともに働く現場の様子などを伺いました。



平岡隆宏管理部
総務グループ長



山本雅也管理部部長

「今、積水化学グループでは、ダイバーシティ（注）経営を推し進めています。平成27年度、現社長によりグループ幹部約230名全員が集められ、『100年経っても存在感のある企業の実現のためには、多様性が不可欠！』と、号令がかかりました。全社的には女性や多国籍雇用を足掛かりに取り組んでいます。弊社が障害者雇用にも力を入れています。もとより、ダイバーシティ推進の号令がなくても同社の障害者雇用は行われており、取材時に『その始まりはいつごろでしたか』と尋ねても、どなたも『私が勤める以前のことで』とおっしゃるほど。そんな会社ですが、實習をきっかけとした雇用は、今回紹介する城後建斗さんが初めてのことであったといえます。それまで、障害のある高校生の實習を受け入れたことがなかった。同社に平成25年、奈良県と高等養護学校から實習の申し入れがありました。普段から、工場見学の時にもロボットを見てわくわくする子どもたちに

受けたこととがなかった。同社に平成25年、奈良県と高等養護学校から實習の申し入れがありました。普段から、工場見学の時にもロボットを見てわくわくする子どもたちに

實習が切り開く 雇用への扉

實習は、障害のある人の人柄や仕事ぶりについて、実務を通してお互いに確認でき、新しいきっかけを生み出します。實習が切り開く可能性についてご紹介します。



SEKISUI 近畿セキスイハイム工業株式会社

**屋内で家を作る
システムチックな製造ライン**

今回取材に伺った近畿セキスイハイム工業株式会社は、プラスチックのメーカーとして誕生した積水化学工業株式会社のグループ企業で、鉄骨系ユニット住宅「セキスイハイム」の製造を行っています。建築物の部材をあらかじめ工場で作成し、建築現場で組み立てる建築工法によるもので、家づくりのほとんどを工場内にてユニット単位で生産しているという特徴があります。

台所用、寝室用などのように各ユニット別に鉄骨を組みながら天井、床、壁などを取り付け、外壁やインテリアの造作にいたるまで、1階から2階まで続く一連の製造ラインを通して屋内で作られるのです。ロボットを駆使したコンピュータ制御による工程もありますが、細かい部分は人の手によって組み立てられています。こうした工場内の様子は「工場見学会」として公開され、人気があります。



積水化学工業株式会社は、1971年奈良市にセキスイハイムの生産工場を設立した。

就職までに4回の實習

同社は、インターシップや中学校の職場体験の際に、簡単な作業を体験してもらっているため、初めてのの方に「体験」の機会を提供することには慣れています。そのノウハウを活かして、当時高校2年生だった城後さんにピッキング作業をお願いしました。

平岡グループ長は、「城後さんは3年生になってからも再び實習に来られ、そのとき本人から、ここで働きたいという言葉が聞きました。

そこで、本気で就職を目指すのであれば、体力的に厳しい夏場の暑い時期に耐えられるかを確かめるため、あらためて夏場に實習してもらいました。それを無事終了し、9月の入社試験を経て採用が決まりました。さらに内定後も實習をしていただき、合わせて4回の實習を重ねたことで職場への理解が進み、現場の人とのコミュニケーションもスムーズになったと思います」と振り返ります。

接したり、中学生の職場体験の申し込みがあるとき快く受け入れてきた経験があり、「まあ、その延長のようなつもりで『はい、大丈夫ですよ！』と平岡グループ長。もちろんそのときは、雇用することになるとは考えていませんでした。（注）ダイバーシティとは、人材と働き方の多様化のこと

あせらず声をかけ続ければ うちとけていける



澤田昌二生産部部長

上司にあたる澤田部長に、城後さんの人柄や仕事ぶりについて伺いました。「性格的には静かで落ち着いた感じがします。とにかくまじめで、言われたことに対しては、慎重すぎるくらいしっかりとやってくれます。最初のうちは、仕事の現場に行って『どう？』と話しかけてもなかなか答えてくれなかったりとコミュニケーションがとりづらかったのですが、休憩時間や食堂で、あるいは車で会ったときなどに声をかけると、それなりに話してくれるのです。時間はかかりましたが、徐々にうちとけてくれるようになったと思います。今ではこちらから話しかけると、どんどん答えが返ってくるようになりました。仕事ぶりは、間違いがほとんどないですね。慣れるにつれ自分のペースをつかみ、とても精度が高い仕事をしています。」

そうして、入社後1年半は、作業場所が変わったり扱う部材が増えたりしながらピッキングの仕事が続きました。

特例子会社設立の支援について

～ 特例子会社設立セミナー & 見学会の開催 ～

奈良県では、障害者の雇用機会の拡大を目的とした、特例子会社設立セミナー & 見学会を平成28年9月に開催しました。

セミナーの主な内容

- 障害者雇用の現状と支援施策について
- 特例子会社設立と運営のポイント
- 特例子会社を活用した障害者雇用のすすめ方
- 障害者雇用の取り組み紹介
 - ・SMBCグリーンサービス株式会社
 - ・株式会社ハートフルコープなら
- 特例子会社設立に向けた職域開発のすすめ方
- 障害者の特性に応じた職場での配慮について
- 特例子会社設立に向けた採用活動のすすめ方

見学先

- SMBCグリーンサービス株式会社 (大阪府東大阪市)
- 株式会社ハートフルコープなら (奈良県磯城郡田原本町)

特例子会社設立セミナー & 見学会の
ポイントの一部を紹介します



特例子会社設立

- 設立の際には、「社内手順」と「支援機関(ハローワーク等)との連携」が重要
- 特例子会社設立によるメリット
 - ・人や設備、ノウハウ等の集中化が可能
 - ・障害特性に応じた労働条件の設定が可能
 - ・障害特性に配慮した職場環境により能力が発揮され、継続雇用や生産性の向上に繋がる

障害者雇用

- 継続雇用のポイント
 - ・社内勉強会等による障害の理解
 - ・目配り、心配りをするキーパーソンの存在
 - ・業務日誌や定期面談等による雇用管理
 - ・就労支援機関との連携

特例子会社設立の検討の際には奈良県障害福祉課まで!!

お問い合わせ先: 奈良県健康福祉部障害福祉課 障害者雇用促進係 TEL:0742-27-8514 FAX:0742-22-1814



もの静かだが、うちとけた様子の城後さん(右)。プライベートでも車やメカニックなものが好きだという。



城後さんの仕事は、指示書に従って木材をカットすること。1日200~300枚をこなしている。

仕事のステップアップ

入社から2年目の夏、まじめに取り組む城後さんの働きぶりを見て、澤田部長は「なにかやってみたいことはあるか」と尋ねました。同社では配置替えをする際には、できるだけ本人の意向を反映することです。

「組み立てをやりたい」という城後さん。その意向に近づけるよう、平成27年10月から、新しい仕事として板のカット作業を始めました。「1日200~300枚、指示書の図面を見ながら決められた形にカットします。また、その板に違う板を貼り付けたりもします。電動工具などの刃物も使いますので不安はありました。直属の上長に頼んでマンツーマンから始めてみると、思いのほか覚えるのが早かったです。今では、その仕事は彼にしかできない



実習中の平岡さん(左)と中村さん(右)

ほどになり、『彼に休まれたらまずいな』という状態です。就職した頃は、こちらの言うことが理解できるか丁寧に話すよう配慮しましたが、実際にやってみると『いけるじゃないか』という感触がありました。障害が仕事上の負担になっていることは、実際のところ感じません。まちがいがなく十分な戦力になっています(澤田部長)」。城後さんは、組み立て系の工場にある内装の工程にかかわるのが夢だといいます。今は憧れの仕事を目指して、一日、一日、目の前の仕事に精一杯取り組んでいます。

新たに二人の実習生を採用へ

城後さんの就職を追いかけるように、平成28年度、二人の高校生が実習にやってきました。平岡さんと、中村さんです。2名の社員が定年退職することに伴い、2名の採用枠がありました。城後さんと同じく、ピッキングを経て、組み立ての実習にも取り組みました。その働きぶりや適性を会社が判断した結果、二人とも、この4月から正式な採用が決まっています。「面接をしていても、障害を感じることなく会話ができました」と、山本部長。小原取締役は、「今回の二人は、接してみると一般高校生と大きく変わらない。



近畿セキスイハイム工業株式会社

〒630-8518 奈良県奈良市西九条町4丁目3番地の1
TEL 0742-61-1816

設立= 1971年(昭和46年)10月1日
社員= 292名
積水化学工業株式会社の子会社。ユニット住宅セキスイハイムの組立・製造を行う。



左から中村さん、平岡さん。「ピッキングの実習では、『これが家のどの部分になるのかな』と想像すると楽しかった(平岡さん)」

それが実習で確認できましたので採用になりました。やはり、実習の大切さを実感します。今、大学でもインターンシップが盛んですが、お互いの共通理解があつて就職というのはいいいことだと思います」と、実習に確かな手応えを感じておられる様子です。そんな実習を経て入社される2人の活躍に期待が膨らみます。



(図2)

関係会社でグループ適用を受けて雇用率を確保している場合もあります。特に大きな企業だと沢山の関連会社を持っています。それぞれの会社がノウハウのない中で独自で障害者雇用を進めるよりも、ノウハウのある会社を中心に協力し、子会社を作って雇用を進めて行く、こういうやり方もあります。

特例子会社のメリットは、設備等に集中投資できますから、効率的な設備管理ができるということになります。それから、障害のある人達に配慮した業務設計と、マネジメントが出来る。これは、働く本人達にとっても安心出来る環境が整うため、良いことです。

特によく言われるのは、「一般企業では、自分はこの役割しか任せてもらえないけれど、特例に転職したところ、期

待されて任されるようになった。やっと自分も仕事をしているという実感が持てるようになった」ということ。「そこに行けば同じような障害のある仲間がいて安心して働ける」という安心感もあります。こうした意味ではメリットが沢山あります(図2参照)。現にこのことが立証されてきたことよって、東京を中心に全国に特例子会社が広がってきた訳です。

一方でデメリットも…

特例子会社が頑張つて雇用を進め、雇用率安全水域になると、特例子会社設立当初の目標が忘れられていきます。その経緯で見えてくるのは、赤字がなかなか改善出来ないことです。そうしている内に子会社設立当時の親会社側役員が替わったりした場合、「なぜこんな効率の悪い会社をいつまでも作っておくのか？」という疑問をもつ人が出てきます。

特例子会社の場合には、『従業員の20%以上を障害者で占めていなければならぬ』と、法律で規定されています。一般の会社であれば、規定は2%ですから、荒っぽい言い方をすれば、98人の障害の無い人の業務を一部ワークシェアすれば、2人の障害者雇用が「なんとなく」出来てしまう。しかし、特例子会社の場合には、従業員の20%以上の障害者を雇用しないといけません、担っている仕事極めて労働集約的な、さ

る人たちの中で、どちらの割合でも圧倒的に緑が増えていることにお気づきになると思います。

今から20〜30年前までは、精神の疾患があるということを感じていた時代でした。治療にかかっていることが周囲にわかると将来にマイナスの影響が出るのではと恐れ、治療に逡巡するのも普通でした。しかし今は、東京では渋谷や恵比寿、新宿など都心部にもメンタルクリニックがあり、誰もが気軽に相談にいけないという社会的理解が進んでいます。

2018年、法定雇用率の計算式に、精神の手帳をお持ちの方が加わります。この結果、法定雇用率が上がります。一方で、日本の人口は減りはじめ、新しく生まれてくる子どもの数も増えていけません。法定雇用率引き上げの要因となります。

これを聞くと、大変だと思ふ企業の方もあっていいでしょう。しかし、これからは、

特例子会社から見える障害者雇用

～障害者雇用を成功に導くために～

奈良県障害者政策推進トップフォーラムでの講演
 NPO 法人障がい者就業・雇用支援センター
 理事長 秦政 (はた まこと)

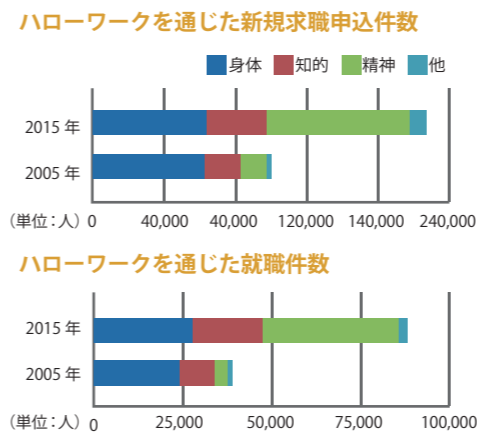


奈良県では、障害のある人が誇りをもって人生を歩むことができ、誰もが社会の一員として包み込まれお互いに支え合う地域社会の実現を目指し、県内各界のトップが障害者の課題を共有し、取組を推進できるよう「奈良県障害者政策推進トップフォーラム」を開催しています。

本年度は9月6日に開催し、NPO法人障がい者就業・雇用支援センター理事長の秦政先生にご講演をいただきました。この講演内容を紹介します。

障害者雇用の環境の変化 「働きたい」人たちの爆発的な増加

障害者雇用の環境の変化について、2005年と2015年を比較してみよう。図1のグラフでは、青の数字が身体、赤の数字が知的、緑が精神です。



(図1)

ハローワークに障害者であることを開示して求職をする人たちや、就職をす

して高いお金も取れない仕事を中心になつてくると、黒字に転換するということも余程のことがない限り出来ません。その事をちゃんと知っておいて、特例子会社を検討しないといけないだろうと私は思います。

親会社と子会社が一緒になつて、そのグループ会社の健全な運営を進めるために、親会社が常に理解を図り、支援をしていく必要があります。

特例子会社に期待されること…

私は、特例子会社が雇用率を改善するというのは役割の一つではあるものの、他にも特例子会社にしかできない役割を担い、価値を発信することができると思っています。それは何かというと、これから企業、特に小規模な企業が直面する、新たに労働力を調達することが難しい時代への対応です。

障害のある人たちの雇用と戦力化の為に、障害者と接した経験の浅い親会社側だけではカバーできないことがあると思います。むしろ特例子会社だからこそ、障害のある人たちの強みや個性を上手く活かした職域設計が出来ます。また、グループ形成をされている企業があるとすれば、特例子会社で培ったノウハウを関連各社に伝え、障害者雇用を支援していけます。このように考えていくと、実は雇用率を達成するというの

は一つのミッションに過ぎません。グループ全体の経営効率を高めること、人材を育てること、将来に備えた準備をすることが、この特例子会社の可能性として十分にあるのだと思っています。少なくとも、私はそうしてきました。ですから特例子会社をお作りになるのなら、もちろん雇用率改善という共通認識を持った上で、将来に向けての価値発信をしてください。そうすれば、特例子会社で働く人たちが誇りをもてます。

障害者雇用の本質とは

「夢を持って会社に入ったものの、実際は必ずしも自分の意に添わない仕事であったとしても、それはしょうがない。しかし、改めて会社の姿勢を見ていくと、会社が欲しかったのは、自分の労働力ではなく、実は自分が持っている障害者手帳のポイントだったのだ」ということに雇用された人たちが気づけば、その瞬間に働くモチベーションは急速に低下します。当たり前です。「あなたに期待するよ」と言ってくれていたはずなのに、本当はそうではなかったのですから。そうではなく、「あなたに頑張ってもらいたい。あなたの力を借りたいのだ」ということを言い続けながら成長を促して行く。これが障害者雇用の本質なのだとは私と考えています。

講師プロフィール



秦政 (はた まこと)

NPO法人 障がい者就業・雇用支援センター理事長
 (東京都中央区築地1-2-1)
 独立行政法人労働政策研究・研修機構講師
 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構講師
 京都市障害者雇用促進推進会議委員
 秦コンサルティングオフィス代表
 ※障がい者雇用全般に関わるコンサルティング・講演多数

著書
 「ケースで学ぶ障がい者雇用促進支援講座」
 「特例子会社設立マニュアル」
 「特例子会社運営マニュアル」
 「障がい者雇用促進のための119番」
 「精神障害者のためのQ&A」
 「2012年度版就業支援ハンドブック」ほか多数



バックヤードでは湯飲みを洗ったり、ポットのお湯を補充。



宿泊客が退出した部屋の備品を一度すべて出し、再び整える。使用済みのものを取り換えたり、綺麗に並べたり。その後、川喜田さんがチェックする。



最近では浴衣の帯をたたむ仕事も増えた。カラフルな浴衣を何度でも着替えられるのが三笠独特のサービス。

古本屋さんが好きで、休みの日にはよく行っています。料理の本などが好きです。
橋尾さんに聞きました。



仕事を始めた頃に川喜田さんが作成した手書きのマニュアル。



川喜田瞳さん(左)と橋尾真理さん(右)



葛井信宏部長(上)
寺田吉久課長(下)



一年以上が経った今では、入社時より広

く」と任せられました。「実は、娘が福祉の大学を卒業していますし、姪もソーシャルワーカーなんです。その関係で、お話としてはいろいろと聞いていたことがありましたけれども、実際に障害のある人と一緒に働いた経験はありませんでした」と言います。

しかし、川喜田さんの指導ぶりには、支援したジョブコーチも感心したという経緯がありました。仕事を始めて間もなく、川喜田さんは、橋尾さんのすべきことをリストにした手書きのマニュアルを作成。仕事は簡単なことからスタートし、橋尾さんが作業した後、川喜田さんが必ずチェック。話し方も工夫し、もし同じ失敗を繰り返すことがあっても、決して「前にも言ったでしょう」という言い方はせず、橋尾さんの気づきを促し、繰り返し教えていったそうです。また、人間関係の上で、落ち込みそうなことがあっても「気にしないでいきましょう」と、フォローしました。決して高望みせず、できることから少しずつ広げていく、そんな自然体でストレスを感じさせない川喜田さんだからこそペアを選ばれたのではと感じられました。

株式会社近鉄旅館システムズ本社
奈良市川上町728番地の10
TEL 0742-22-5671
http://www.naramikasa.com 他
「奈良 万葉若草の宿 三笠」の他に、「青蓮寺レクホテル」「樺原観光ホテル」「春日山月日亭」を運営。会社全体の従業員数145名。



雇用した事業所 株式会社近鉄旅館システムズ

就職した人 橋尾真理さん

知的障害 35歳
主な業務 ルームメイク、清掃等

近鉄グループの株式会社近鉄旅館システムズは、平成19年に設立された、奈良県下他で4つの旅館ホテルを運営する企業です。そのひとつが、古都奈良の世界遺産を一望できる宿「奈良 万葉若草の宿 三笠」。平成27年から、はじめて障害者を雇用しています。

ハローワークの紹介で面接へ

東大寺の大屋根を右手に見ながら、奈良公園の北東の隅から若草山へ向かって始まる奈良奥山ドライブウェイ。そのゲートを入って登ったところにある奈良 万葉若草の宿 三笠(以下三笠)は、古都奈良を一望できる眺望の美しい旅館です。

三笠を経営する株式会社近鉄旅館システムズが障害者雇用を検討し始めたのは、平成25年に障害者雇用の法定雇用率1.8%から2.0%への改正がきっかけでした。総務部課長の寺田吉久さんは、「改正されれば、我が社も該当する」という意識があり、改正の知らせを知った時から上層部に情報を提供し、内部的な準備を始める一方で、ハローワークに相談をしていました。

そして紹介されたのが、平成27年に行われた奈良県障害者技能競技大会(以下通称アピリンピック)の視察でした。そこで目にしたのは、アピリンピックに出場する競技者の想像以上の技能。その印象について寺田課長



橋尾さんが担当するのは和室

は、「障害のある人が、こんなに仕事ができるのか」ということには感動しました」と振り返ります。続いて、就職を希望する障害のある人と企業をマッチングする障害者就職面接会にも、同社総務部長・経営企画部長の葛井信宏さんと寺田課長が、現場の職員とともに、出かけました。

その場で、応募に来た4名と面接し、同社としては全員雇用する考えで進めたところ、結果的には本人の都合による辞退等もあり、実際に雇用に至ったのが3名、このうち男性1名と、今回紹介する橋尾真理さんが、三笠で働くことになり、平成27年12月からルームメイクや清掃に関する業務に従事しています。

頼もしい先輩の存在

雇用を決定するのは会社ですが、実際には現場の職員と一緒に働くことになります。橋尾さんが働くにあたって、現場でペアを組むようにと指示を受けたのが川喜田瞳さん。「自分で考えてやってください。後はよろし

範囲の業務がこなせるようになった橋尾さんですが、手書きのマニュアルを今でも大切に、いつでも携帯しています。

障害のある人もない人も働きやすい場所

寺田課長は、橋尾さんとは現場で共に仕事に従事することはないですが、出勤のバスの中で一緒です。駅から旅館までの短い時間、仕事とは関係のない軽い会話を交わす楽しいひとときになっています。そんなところも、橋尾さんの働きやすさに繋がっているようです。「相談役を寺田課長にお願いしたのがよかったのかも」と葛井部長。寺田課長は、「平均年齢が高いせいか2名の若者がきてくれてから、職場に活気が出ました」とにっこり。橋尾さんは、川喜田さんを信頼し、何事にも真面目に仕事に取り組むよく笑う朗らかな人。

三笠は、法改正がきっかけで、障害のある人を雇用されましたが、障害のある人もない人も同様に、生き生きと働くことのできる場所でした。

奈良県立西和養護学校

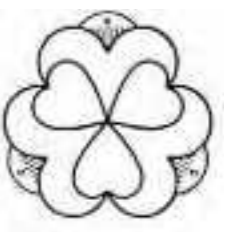
地域に受け入れられながら
開校10周年を迎えました



旧上牧高校を改修した校舎の隣に立つ、高いシンボルツリーが印象的。スクールバスや送迎の車が入り出できるよう、駐車場が広い。廊下には、手作りの看板が掲げられている。

奈良県立西和養護学校は、北葛城郡上牧町の住宅地に開かれた中にあり、旧県立上牧高等学校を改修して、奈良県で2番目に新しく平成19年4月に開校した知的障害のある児童生徒のための特別支援学校です。小学部から高等部までを合わせた生徒数は268人(平成28年5月1日現在)と県下最大であり、香芝市、大和高田市からの児童生徒を中心として年々増加傾向にあります。

通学エリアはこの他、北葛城郡(上牧町・王寺町・広陵町・河合町)生駒郡(平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町)で学部別の児童生徒数の割合が、小84名、中91名、高93名と、ほぼ同数になっているところが特徴です。ほぼ全員がスクールバスで通学し、6台のバスが登下校を支えています。校区は大阪への利便性から都市部へ通勤するサラリーマン世帯のベッドタウンの側面があり、学校の周辺では、子どもたちが巣立った後の親世代が増えているという地域性があります。遠くからよく見える高いシンボルツ



稲本正法校長(右)と平井克季教頭(左)

リーが印象的な校舎は、元高校だけあって体育館や校庭は広々としており、スペースには恵まれています。ただ、高等部に限って言えば、体格が大きくなる時期なので、教室は狭いとみんなが感じています。



旧上牧高校の教室を2分割して教室数を増やしているため、高等部の生徒にとっては狭い教室。

その高等部の時間割は、一般的な教科に加えて、仕事、農耕、木工、家政、流通サービスなど、将来のための働く力や社会性を高めるための授業があり、中でも、流通サービスでは、生徒たちの自信になるようにと、校外へ出て模擬販売活動や清掃活動を行い、実践的なスキルやコミュニケーション能力

を身につける学習を行っています。卒業後は、福祉施設の障害福祉サービスを利用する生徒がほとんどですが、約1割の生徒たちが、就職しています。

地域と共に迎えた10周年

開校して10年、この流通サービスの学習を通して、周辺の幼稚園や小学校に生徒が向いて清掃を行ったり、役場や福祉センター内で農産物の模擬販売を行うなど、地域との交流がたいへん良好に行われています。買い物に出かけるのが大変になりがちな高齢者家庭からは農産物の模擬販売が喜ばれ、「なかなか品物のほうが追いつかなくて」と、平井教頭は微笑みながらも申し訳なさそうです。

また、養護学校の生徒が地域の小学校の児童に清掃の仕方を教えてあげるという取り組みも行われており、「いつもやっているから、小学校で教えることができただね」と、生徒たちのやりがいや充実感を育んでいます。地域における取り組みは、自治会をはじめ地域住民への学校側からの働きかけがあって叶うことであり、それを受け入れる住民のやさしさも感じられました。

開校10年目を迎えて、生徒への公募によるマスコットキャラクターも決定。平成29年6月の10周年記念式典を控え、学内には、ほのかなお祝いが漂っています。

授業を通じて地域と交流



清掃活動 幼稚園での清掃活動のあと、園児たちからお礼を言われたコマ。



小学校で清掃の出前レクチャー。「スクレーパーの使い方はこうするんだよ」と児童の前では立派な先生に変身。



模擬販売活動 学校の近くにある公園にて。近隣のお年寄りには農産物を楽しみにしている人も多い。



香芝市総合福祉センター内にて



上牧町役場前にて



靴下の端材を利用した手織りキットは先生の工夫で作られたもの。タワシなどを作って模擬販売している。



開校10周年を記念して生徒への公募から決定したマスコットキャラクター。名称は「ゆりっしー」手作りのパッケージにも早速採用されている。

奈良県立西和養護学校

〒639-0205
奈良県北葛城郡上牧町下牧1010
TEL:0745-73-2111
FAX:0745-32-9877
<http://www.e-net.nara.jp/sns/seiwayougo/>

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構奈良支部
奈良障害者職業センター

所長 石黒秀仁さん

ジョブコーチ支援とリワーク支援

奈良障害者職業センター
〒630-8014 奈良市四条大路4丁目2-4 TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899
Email: nara-ctr@jeed.or.jp 開庁日時 8:45~17:00(土日祝、年末年始休暇を除く)



その頃、アメリカでは「援助付き雇用」が制度化され、就職準備が十分でないと思われていたような人でも就職できるようになってきました。それは何故でしょうか？

就職への道は、仕事に必要な技能や準備性を段階を一段ずつ上げるよう訓練していくように考えがちですが、せっかく訓練しても場面が変わると能力が発揮できない人も多く、「だったら、はじめから職場に入って、そこで必要な作業能力や対人能力を引き上げ、本人に合った職場環境を整備したら能力を発揮できる」というのが、「援助付き雇用」の考え方です。我々には目から鱗でした。この「援助付き

ジョブコーチ支援の始まり

昭和35年に身体障害者雇用促進法が施行されますが、依然として就職が困難であった中・重度の身体障害者等に対する適職判定等を行う機関として、地域障害者職業センターが設置されました。その後、能力開発にも重点が置かれ、昭和60年代から知的障害者等を対象に職業準備訓練を開始しました。一方、時代とともに「障害」の捉え方も進歩し、個人の心身機能・能力だけでなく、環境との相互作用が強調されるようになり、それとともに職業センターの業務も変化してきました。

地域障害者職業センターの設置



石黒秀仁所長(同センターにて)

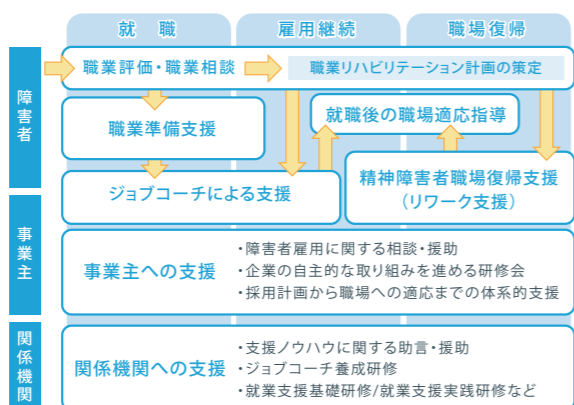
取材の後・・・事業主さんとの出会いは、事業主さんがハローワークに「障害者を雇いたいけど、どんな仕事してもらったらよいか分からない」という相談に行かれることがきっかけで紹介されるケースが多いです。もちろん、直接の相談もOK。センターは他の支援機関と密に連携し、雇用と職場定着に向けて併走していきます。訓練場面を見たり、実習を受け入れていただくと、障害のある方が随分違って見えると思います。障害といってもその人の特徴のごく一部で、長所に見えることも。ぜひ気軽に職業センターをご活用下さい。

精神障害者の雇用対策の拡充が求められるようになり、職業センターにおいても、「うつ病等で会社を休んでいる人たちへの支援も必要」という状況に対して、職場復帰(リワーク)支援を開始することになりました。リワーク支援は、復職を願う本人、企業、主治医との合意のもと、①生活リズムの構築と体調の自己管理、②基礎体力・集中力・持続力等の向上、③ス

精神障害者雇用対策としてのリワーク支援

雇用」の考え方を基にジョブコーチ支援を開始しました。ご本人が努力する部分、環境調整が必要な部分をアセスメントして、障害者に対する支援、職場環境の調整、企業に対する支援を行います。最近では、精神障害のある人が長く勤められるよう、体調の自己管理などの支援にも力を入れています。

《奈良障害者職業センターの業務の概要》



トレス対処法・対人スキル習得などを目的に、作業課題やグループミーティングなど様々なプログラムを実施します。企業に対しても、復帰時の仕事内容や職場環境の改善方法の提案などを行います。現状、大企業の方の利用が比較的多いですが、手続きは簡便で、費用もかかりません。奈良の中小企業の方にもご利用いただきたいです。

福祉事業所 レストラン

障害のある人たちが働いている福祉事業所が運営しているレストランを紹介します

Vol.6

Ohisama Cafe&Shop

(おひさま かふえあんどしょっぷ)



近鉄御所駅前にある大きなオレンジ色のテントが目印のOhisama Cafe&Shopは「人と人」「もの」との「人とももの」をつなぐ地域のアンテナショップとして多くの人に愛されています。カフェでは有機栽培豆を使ったコーヒーなどのドリンクが付いたランチやモーニング、心を込めて作られたこだわりの手づくりパンやケーキなどが楽しめます。また、一番人気のシフォンケーキやクッキー、焼菓子もすべて手づくりで、手みやげ用にラッピングも承ります。おひさまのようにキラキラした笑顔のスタッフがお待ちしております。

Ohisama Cafe&Shop

(社会福祉法人 せせらぎ会)

住所: 奈良県御所市東松本10-3
定休日: 木曜 祝日
営業時間: 9:00~17:00(LO16:30)
電話&FAX: 0745-62-0011

アクセス:
近鉄南大阪線御所駅より徒歩1分
駐車場5台あり



メニュー

モーニング	400円~	ランチ	650円~
有機栽培コーヒー	350円	パンセット	550円
ケーキセット	550円		
クリームソーダ	300円 など		

※税込み



やまとしうるはし、おもしろし

国文祭 障文祭 なら2017

9.1 FRI → 11.30 THU

第32回国民文化祭・なら2017 / 第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会 全国初の一体開催! 奈良から新たな文化を発信

主催: 文化庁、厚生労働省、奈良県、第32回国民文化祭奈良実行委員会、第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、市町村、市町村国民文化祭実行委員会、文化芸術団体 第32回国民文化祭奈良実行委員会事務局 / 第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会事務局(奈良県地域振興部国民文化祭・障害者芸術文化祭課内) TEL.0742-27-8478

SNSで最新情報発信中!

YouTube イメージソング『やまとしうるはし』公開中!

国文祭 障文祭 なら 検索



総合フェスティバル
《オープニング》
9月2日(土) 会場: 東大寺大仏殿前
《フィナーレ》
大和のまつり(仮称)
11月25日(土) 会場: 奈良県南部
閉会式
11月26日(日) 会場: 奈良県文化会館

国際交流事業

「NARA・国際交流フェスティバル(仮称)」など、音楽等による交流で多様な日本文化を発信

障害者交流事業

「さわって楽しむ体感展示」など、障害のある人もない人もともに楽しめるイベントを実施

シンポジウム事業

「フォーラム・NARA」など、様々なテーマでシンポジウムを開催

分野別フェスティバル

伝統文化・歴史文化・音楽・美術・演劇など、奈良県内全39市町村で多彩な事業を展開

